

---

# テンプレから外れるかもしれない物語

パンダ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

テンプレから外れるかもしれない物語

### 【Nコード】

N1664BA

### 【作者名】

パンダ

### 【あらすじ】

これはただの普通の少年が、気がついたらナニカになっててナニカがナニしてテンプレから外れて大団円になる物語である

## 第一話「プロローグと言いたいところだけど第一話といっておこう」

目が覚めたら、俺は『ナニカ』になっていた。

え、なにこれと思っただけで周りを見ようとすると真っ暗だった。いや、これは正しくないか、確かに視界は真っ暗だったがそれ以外の何かが見えるから真っ暗は正しくないな

見えるものはうねりだったり、流れだったり、何も見えなかったり、球だったり

まあ、そんなことは別にいい。いや、良くないのかな？

まず俺は一体何なのか、それを考えるところでしょう。え〜と、俺の名前や年齢、あと俺の容姿とかなんだっけ？

などと考えてたら俺の視界にひとつの人型が見えた、その存在に話しかけようとしたとき、それが何かを呟いて俺ははじけた

はじけた後、次に目が覚めたら、また俺は『ナニカ』になっていた。  
・・・え、なにこれ？　なんでスライムみたいな姿になってるの？  
そもそも俺は一体なんなの？　さっき俺はじけ飛んだよな？　それ  
なのになんで生きてるの？

・  
・  
・

・・・自問自答してもしょうがないので、周りを見てみる  
大地はある。水、というか海もある。でも生き物はいない。どゆこ  
と、これ？

さっきまで真っ暗だったよな、え？　それがなんでこうなってんの？  
あと、さっきまで見えてた、うねりや流れが見えなくなっていた。  
まあ、見えてた時を思い出せば見えるようだが。一体何だったんだ？

考えても埒があかないので、歩き回ってみる（正確には這うだが）  
少し歩いたところに木があった。木に登ったら少しは見通しが良く

なるかもしれない。そう思って木に登ろうとした。が、触った箇所から消えていった

……なにこれ？ 触ったところを吸収してんのか？ なくなった分だけ俺の体大きくなってるし

この木を丸ごと取り込んだらどうなるのかな？ そう思い吸収していく

そして吸収した結果、何かノツポになりました。いや、ノツポっていうか木になったというのが正しいか、色は違うけど

……いろいろ考えたところ、俺は『触れたものを吸収』をすることができ、吸収した物の姿形を真似ることができるとか、そんなことは置いといて、周囲の確認をする

前後左右見渡すが特に何も無い、か

それはそうと、元に戻るにはどうしたらいいんだ？ やっぱ糞するかんじで力めばいいのかな？

フンッ！！ 力む音

ポンッ！ 出た音

おお、出来たできた、体の大きさも戻ってるようだしでも体は大きいほうがいいので、また吸収する

俺の体はどうやら、ある程度の形は俺が決められるようだ。あと大きさも変えられるみたいだ。木を吸収して大きくなってたのにいつの間にか小さくなってた

『これを利用すれば、蛇になれんじゃね？』と。思い変身したところ

る、足が生えてた  
いや、なんで？ どうやっても足がなくならないので、しょうがないから諦める

そうして変身 いや、変形か？ した俺は世界を駆け巡るのであった

・  
・  
・  
・  
・  
・  
あの日から俺はいろんな場所へ行った、海の底へ行き、山を登り、野越え谷越え天を越え。そしてこの星の隅から隅まで探索尽くした俺は神の住居にたどりついたのであった

そこには、生物と神が存在していた

俺は神に訪ねた俺は一体何なのか、なぜ俺の姿はおかしいのかその質問に髪はこう答えた、俺の存在については神の力をつかってもわからないらしい。だが俺の姿についてはわかっただらうらしい  
どうやら俺は『ナニにでもなれてナニにでもなれない存在』らしい。どうやら俺は生まれながらにして矛盾した存在らしい。だから俺はナニ力であろうとしても別のナニ力であるという概念があーしてこーなって結局そういうことになってしまうようだ  
その話を聞いたあと、神は条件を飲むなら完全な人型になれるようにしてやる。と行ってきた  
その条件は『自分（神）と俺が【にゃ〜ん】すること』らしい。なんでも興味があるけど人作るのがめんどいし、そもそもナニがどうなってるのか知らないので作れないようだ

その条件をのんで人になれるようになり、神様とギツコンバツタンしたあと、しばらくここで暮らしてもいいかと聞いた、別にここ以外行くところないし。

その返答はもちろんオーケーとのことだった。ただし、なるべく人の姿でいることが条件らしい。おれは蛇の姿のほうが好きなんだがな

ここに住み着いてから数日、ひとつの木についた果実をじゅつと見つめてる男女がいた

「食べないのか？」

そう聞くと神に食べてはいけないと言われたようだ。が、そう言われると食べなくなるのが人の性、なのでパクツと食べる

・・・おお、スゲー美味しい。でも食べたのがバレるとあれなのでひとつで我慢。そして俺に感化されたのか、二人共その果実を食べる

何故か女の方が顔が赤くなり、手を振りあげ俺と男をなく・・・

目が覚めたら牢に入れられた、どうやらあれは『知恵の実』と呼ばれている物で神以外、絶対に食べてはいけないものだったらしい。そしてそれを人に食べさせた俺は罰としてここを追放、それに加え蛇の状態に生えている足の切断らしい

詳しいことは明日話すということなので、今日はもう眠るか

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1664ba/>

---

テンプレから外れるかもしれない物語

2012年1月4日06時45分発行